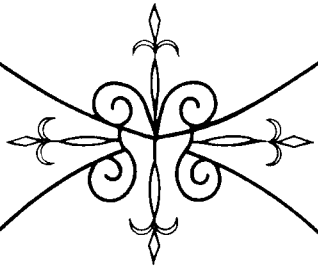
三島由紀夫
全集

三島由紀夫全集



24

V

監修／石川淳　川端康成　中村光夫　武田泰淳
編纂／佐伯彰一　ドナルド・キーン　村松剛　田中美代子

新　潮　社

三島由紀夫全集第二十四巻

昭和五十年四月二十日印刷
昭和五十年四月二十五日発行

著者三島由紀夫
発行者佐藤亮一
装幀者杉山寧

発行所株式会社新潮社
〒162東京都新宿区矢来町七一　振替東京四-八〇八
電話業務部(〇三)二六六-五一一一　編集部二六六-五四一一
定価二五〇〇円
第二十四回配本（全35巻・補巻1）
Copyright © 1975 YŌKO HIRAOKA, KŌTARŌ IKEDA and SHIN'YA ANDŌ Tokyo Jap

三島由紀夫全集　第二十四巻　目次

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.

癩王のテラス……七
椿說弓張月……九七
文樂 椿說弓張月……一六一
附　子……一七九
LONG AFTER LOVE……一八九
ブリタニキュス……一九九
プロゼルピーナ……二〇九
聖セバスチァンの殉教……二二九
ボクシング……六〇九
オルフェ……六三三
解　題……六四七
校　訂……六五五

三島由紀夫全集　第二十四巻　戯曲（5）

癩王のテラス

三幕

時

西暦紀元十二世紀末

所

第一幕　第一場　アンコールに程近き森の場
　　第二場　アンコール王宮祝賀宴の場
第二幕　第一場　バイヨン寺院工事場の場
　　第二場　王宮第一王妃居室の場
　　第三場　塔内蛇神神殿の場
第三幕　第一場　バイヨン寺院を望むテラスの場
　　第二場　バイヨン大寺院の場

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.

人

ジャヤ・ヴァルマン七世王（Jayavarman）
王太后　チューダーマニ（Chūdāmani）
第一王妃　インドラデーヴィ（Indradevī）
第二王妃　ラージェンドラデーヴィ（Rājendradevī）
宰相　スールヤバッタ（Sūryabhatta）
石工のちに若棟梁　ケオ・ファ（Keo-Fa）
村娘　クニュム（Khnūm）
支那の大官　劉萬福
同夫人
占星術師　クララーパンジ（Kralāpañji）
老棟梁　カンサ（Kansa）
浮彫師　パンダーン（Pandān）
畫工　ナラーイ（Narāy）
瓦職人　パロン（Paroṅ）
金箔師　サウイ（Sa-uy）
祈禱師（アシャル）　タヤク（Thayak）
注進の兵士
村人A
村人B
村人C
村人D
村人E
子供A
子供B
子供C
癩の乞食
代父（パパ）
象を馭する黑人少年
牢番
囚人たち
兵卒たち
侍女たち
輿を擔ふ奴隷たち
樂人たち

＊

宮廷舞踊の踊り子たち
村の結婚式の踊り子たち

第一幕

第一場

（カンボジヤのアンコールに程近い「巡禮の大道」を森の向うに望むところ。棕櫚、砂糖椰子、ココ椰子、檳榔樹、野生のバナナ、マンゴー等の生ひしげる森。上手には澤。
（幕あくと、一人の子Aは澤にむかつてしやがみ、子供Bは木の股に腰かけ、子供Cは下手寄りの砂糖椰子の樹液を瓶に集めてゐる。
（密林の鳥の聲。――午後）

子供C　（Bに）おーい。まだ見えないか？

子供B　（バナナを喰べながら）まだだよ。道の上には何も。

子供A　しーつ！

（――間*）

子供C　（Bに）まだ見えないのかい？

子供B　まだだよ。見えるのは入道雲だけだ。

子供C　遅いなあ。

子供A　しーつ！

（C、瓶を持つて上手へ行き、Aをじつと眺め、Aが顔をあげると、これ見よがしに瓶の樹液を舐める）

子供A　おれにも舐めさせろ。

子供C　だめだよ。ちやんと約束したぢやないか。魚狗（かはせみ）一羽と、砂糖椰子の液一瓶と交換だつて。

子供A　しつ！　かかつたぞ。囮（をとり）の雌（めす）が、ほら、籠のなかで。（ト蘆のかげの籠をさす）

子供C　ほんとだ。雄鳥が近づいてきた。

子供A　（片手の網をかざして）ほら！

（ト雄の魚狗をつかまへる）

子供A　（魚狗をさし出して）どんなもんだい。こいつの羽根は支那の商人に高く賣れるよ。

子供C　（瓶をさし出し）これだつて、黒砂糖屋のをぢさんに高く賣れるよ。（ト惜しげにもう一舐めして渡す）

子供A　（Bを見上げて）まだ大丈夫だね。まだ來ないね。

子供C　（Bに）まだ見えないね。

子供B　ああ、なんにも。

子供A　いそいでこれを家へ置いて來よう。

子供C　うん、おれも。

（トAは囮を入れた籠と網と瓶を持ち、Cは魚狗を大切に持つて下手花道へ入る。

（入れかはりに上手花道から、若い石工ケオ・ファ獨木舟を漕いで出る。村の娘クニュムこれに同乘）

石工　（舟を岸に止め、樹上の子供Bに）おーい、何か見えるかい。

子供B　まだだよ。見えるのは入道雲だけ。

石工　間に合つた。ここで待たう。

（ト娘の手をとつて下ろす）

娘　王様のお姿を見ると目がつぶれるつて本當？

石工　そんなことは年寄の言ふことだよ、クニュム。王様は貴賤のわかちなく慈悲を施され、そのお手が觸れると病人もたちどころに治るさうだ。

娘　あなたは王様を見たことがある？

石工　ないね。ずつと前から戰爭に行かれて、今日凱旋されるまで、俺のはうはこの土地を離れたことがないのだもの。

娘　王様は、若くて美しくて強くて、王様の前へ出て見劣りしない男は世界中にゐないといふぢやないの。

石工　（氣を惡くして）ゐないこともないさ。

娘　あなたは別よ、ケオ・ファ。カンボジヤの娘はそんな神様よりもあなたを選ぶに決つてゐるわ。

石工　（照れて）それはともかく俺はまだ見ぬ王様を尊敬してゐる。俺とほとんど同じ年頃なのに、かうして俺が石工として、蠻族に荒された宮殿の修理や建直しに、むなしく若い日をすごしてゐるあひだ、あの方はこの國をかつて蹂躙した憎いチャム族を追つて遠征され、あいつらの惡の巢、あいつらの狂氣のねぐら、占城（チャンパ）王國を征服されたのだ。しかも噂にきくとお情深くて信心も篤く、觀世音菩薩を崇拜され、御自身が觀世音菩薩そのままに……

娘　おばあさんが言つてゐたわ。觀音樣はその毛穴の一つから數千の天上の歌人（うたびと）を、また別の毛穴から數百萬の賢者を生むのですつて。どんな大きな毛穴でせう。きつと一つ一つの毛穴がトンネルほどもあるんだわ。私、あなたのやうに、見えるか見えないほど小さな毛穴のはうが好き。

石工　（下手を見て）しつ。棟梁たちが來る。うるさいから、君はどこかに隱れてゐろよ。……さうだ。（ト樹上を見、Bに）おい、坊や、このお姉さんをそこの葉ごもりに隱してくれ。

子供B　よし來た。

（ト手をさしのべる。石工、娘を樹上へ追ひ上げ、そしらぬ顏をする。
（下手より、老いた棟梁を先頭に、同じく老いた祈禱師（アッシャル）、元氣のよい職人たち、浮彫師、畫工、瓦職人、金箔師登場）

棟梁　さあ、もうそろそろ凱旋の行列がやつて來るころだ。ここでお迎へするのがいちばんいい。向うからはこちらの賤しい姿は見えず、こちらからはあの「巡禮の大通り」を通る行列を、葉ごしに拜むことができるのだからな。（ト石工に氣づき）おお、ケオ・ファ、そこにゐたのか。

石工　お出でをお待ちしてゐました、棟梁。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.